



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 CKD株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6407 URL <https://www.ckd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 舟橋 典孝 (TEL) 0568-74-1006
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 平成30年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	60,455	11.5	2,979	△49.0	2,988	△49.3	2,235	△47.6
30年3月期第2四半期	54,233	26.3	5,845	40.8	5,896	45.4	4,268	52.4

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 2,270百万円(△59.8%) 30年3月期第2四半期 5,651百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	36.11	—
30年3月期第2四半期	68.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	132,991	81,089	60.9
30年3月期	130,887	80,058	61.1

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 80,956百万円 30年3月期 79,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00
31年3月期	—	20.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	0.3	6,700	△46.3	6,700	△46.3	4,800	△47.5	77.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年3月期2Q	68,909,449株	30年3月期	68,909,449株
31年3月期2Q	6,989,021株	30年3月期	6,993,934株
31年3月期2Q	61,917,604株	30年3月期2Q	61,916,463株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成30年11月15日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
〔生産、受注及び販売の状況〕	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が続き、堅調に推移した個人消費が牽引役となり、緩やかに回復いたしました。企業収益は、好調な内需と緩やかな輸出の増加により改善が進み、生産能力増強や合理化・省力化に向けた設備投資が増加いたしました。

また、海外経済は、米国では良好な雇用情勢が持続したことで、個人消費は堅調に推移し、企業の生産活動は拡大が続きました。欧州では金融緩和策などから回復に向かいました。中国では政府の抑制策によりインフラ投資の伸びは鈍化し、米国との貿易摩擦による影響があったものの、個人消費が下支えし底堅く推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高60,455百万円（前年同四半期比11.5%増）、営業利益2,979百万円（前年同四半期比49.0%減）、経常利益2,988百万円（前年同四半期比49.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,235百万円（前年同四半期比47.6%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

自動包装システムでは、薬品向けの売上が減少いたしました。

産業機械では、三次元はんだ印刷検査機、リチウムイオン電池製造システムともに売上が増加いたしました。

その結果、売上高は7,106百万円（前年同四半期比3.7%減）、国内の受注価格が厳しくなっていることに加え、将来を見据えて海外物件を戦略的に受注した影響によりセグメント損失は99百万円（前年同四半期は391百万円のセグメント利益）となりました。

② 機器部門

国内市場では、メモリーを中心とした設備投資が続いた半導体製造装置向け、内需を中心に堅調な工作機械向けの売上が増加いたしました。

海外市場では、国内市場と同様に半導体設備投資の減速はあったものの、東アジアや東南アジアを中心に売上が増加いたしました。

その結果、売上高は53,348百万円（前年同四半期比13.9%増）、売上高増加に対応する設備投資と生産要員の増強による費用の増加、さらに当第2四半期会計期間からの半導体メモリー設備投資減速の影響などによりセグメント利益は5,473百万円（前年同四半期比28.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,103百万円増加の132,991百万円となりました。これは主に、現金及び預金並びに売上債権が減少したものの、たな卸資産及び有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,072百万円増加の51,902百万円となりました。これは主に、未払賞与及び未払法人税等が減少したものの、仕入債務、借入金及び賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,030百万円増加の81,089百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント減少の60.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ6,376百万円減少の8,423百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、318百万円（前年同四半期は2,032百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,990百万円、減価償却費2,375百万円、賞与引当金の増加2,293百万円、売上債権の減少2,265百万円、仕入債務の増加1,635百万円による資金の増加、未払賞与の減少2,403百万円、たな卸資産の増加7,123百万円、前受金の減少537百万円、法人税等の支払額2,103百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、6,802百万円（前年同四半期は2,858百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6,899百万円、無形固定資産の取得による支出221百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、674百万円（前年同四半期は2,356百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,612百万円による資金の増加、長期借入金の返済による支出895百万円、配当金の支払額1,236百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績及び半導体メモリー設備投資の減速や中国での自動化投資減少の影響などによる直近の受注動向等を踏まえ、平成30年5月14日に発表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

なお、平成30年10月1日から平成31年3月31日までの期間における為替レートは1米ドル110円を前提としております。

平成31年3月期 通期 連結業績予想数値の修正
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 122,000	百万円 14,000	百万円 14,000	百万円 9,800
今回修正予想 (B)	116,000	6,700	6,700	4,800
増減額 (B - A)	△6,000	△7,300	△7,300	△5,000
増減率 (%)	△4.9	△52.1	△52.1	△51.0
(参考) 前期実績 (平成30年3月期)	115,700	12,472	12,469	9,142

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,245	8,887
受取手形及び売掛金	26,721	23,515
電子記録債権	5,215	6,061
営業未収入金	249	264
商品及び製品	8,840	10,576
仕掛品	4,782	4,875
原材料及び貯蔵品	21,094	26,361
その他	1,687	1,772
貸倒引当金	△109	△114
流動資産合計	83,726	82,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,350	13,245
その他(純額)	19,848	23,975
有形固定資産合計	33,199	37,221
無形固定資産	2,612	2,487
投資その他の資産	11,349	11,081
固定資産合計	47,160	50,790
資産合計	130,887	132,991
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,021	19,824
電子記録債務	2,429	3,218
短期借入金	6,591	7,032
1年内償還予定の社債	55	43
未払法人税等	2,261	904
賞与引当金	414	2,708
その他の引当金	491	650
その他	11,809	8,133
流動負債合計	43,074	42,515
固定負債		
社債	191	170
長期借入金	4,845	6,409
その他の引当金	161	110
退職給付に係る負債	390	420
その他	2,165	2,275
固定負債合計	7,754	9,386
負債合計	50,829	51,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,383	12,390
利益剰余金	56,812	57,799
自己株式	△4,908	△4,905
株主資本合計	75,304	76,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,857	3,829
為替換算調整勘定	1,686	1,596
退職給付に係る調整累計額	△899	△769
その他の包括利益累計額合計	4,644	4,656
非支配株主持分	109	132
純資産合計	80,058	81,089
負債純資産合計	130,887	132,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	54,233	60,455
売上原価	36,823	45,505
売上総利益	17,409	14,949
販売費及び一般管理費	11,564	11,970
営業利益	5,845	2,979
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	75	103
その他	187	216
営業外収益合計	270	329
営業外費用		
支払利息	35	33
売上割引	75	87
持分法による投資損失	47	1
デリバティブ評価損	31	67
為替差損	1	72
その他	26	57
営業外費用合計	218	319
経常利益	5,896	2,988
特別利益		
固定資産売却益	3	2
投資有価証券売却益	3	20
負ののれん発生益	149	—
補助金収入	6	144
特別利益合計	163	167
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	53	19
固定資産圧縮損	6	144
特別損失合計	60	165
税金等調整前四半期純利益	5,999	2,990
法人税、住民税及び事業税	1,646	775
法人税等調整額	36	△40
法人税等合計	1,682	734
四半期純利益	4,316	2,255
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,268	2,235

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	4,316	2,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	777	△28
為替換算調整勘定	469	△87
退職給付に係る調整額	85	130
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△0
その他の包括利益合計	1,335	14
四半期包括利益	5,651	2,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,604	2,247
非支配株主に係る四半期包括利益	47	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,999	2,990
減価償却費	1,915	2,375
持分法による投資損益(△は益)	47	1
負ののれん発生益	△149	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,256	2,293
未払賞与の増減額(△は減少)	△2,021	△2,403
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	78	131
売上債権の増減額(△は増加)	△742	2,265
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,930	△7,123
仕入債務の増減額(△は減少)	518	1,635
前受金の増減額(△は減少)	903	△537
その他	354	△69
小計	4,229	1,559
利息及び配当金の受取額	84	113
利息の支払額	△36	△32
法人税等の支払額	△2,245	△2,103
補助金の受取額	—	144
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,032	△318
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,106	△6,899
無形固定資産の取得による支出	△862	△221
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	826	—
その他	283	318
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,858	△6,802
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△194	271
長期借入れによる収入	400	2,612
長期借入金の返済による支出	△1,500	△895
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△987	△1,236
その他	△73	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,356	674
現金及び現金同等物に係る換算差額	93	70
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,089	△6,376
現金及び現金同等物の期首残高	13,905	14,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,815	8,423

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,376	46,856	54,233	—	54,233
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	43	43	△43	—
計	7,376	46,900	54,277	△43	54,233
セグメント利益	391	7,671	8,063	△2,217	5,845

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,217百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,234百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間より、日機電装株式会社(平成29年6月1日付でC K D日機電装株式会社に商号変更しております。)の株式を取得し連結子会社としたことにより、「機器部門」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に負ののれん発生益149百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,106	53,348	60,455	—	60,455
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	50	50	△50	—
計	7,106	53,398	60,505	△50	60,455
セグメント利益又は損失(△)	△99	5,473	5,374	△2,395	2,979

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,395百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,410百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	7,555	△29.1
機器部門	55,098	+12.4
合計	62,654	+5.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	8,036	△5.3	11,595	△0.8

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	7,106	△3.7
機器部門	53,348	+13.9
合計	60,455	+11.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。